

移転対象地区への対応は。

答 できるだけ精いっぱいやっていきます。

町民に寄り添った対応を

問 町長の選挙公約には、空港機能強化に伴う移転対象地区の一畷田地区に対し、成田国際空港(以後「NAA」という)任せにはせずに、「住民の声を傾け、寄り添っていく」と約束されました。地区説明会などに参加されていると聞いていますが、その思いを伺います。

町長 一畷田地区の皆様には、長年住み慣れたふるさとから新たな場所へ移るということで断腸の思いであったと思います。町とし



町長の思いは

て、そのお気持ちを踏まえて寄り添い、できることは精いっぱいやっていきたいと思っています。

問 一畷田地区の集団移転先が鷹ノ巣地区から五辻地区に変わったが、その近くには五辻地区の共同墓地があります。移転先としては墓地から離れた静かな所が適当だと思いますが、町の考えを伺います。

空港地域振興室長

一畷田地区にはお寺、神社、3カ所の墓地があり、すべて移転対象です。墓地周辺には開発事業による公園などを入れて居住地を離すNAAの計画になるかと思っています。

町長 一畷田地区の気持ちを踏まえ、墓地の隣に住居が建つことのないよう、NAAには強くお願いしています。

問 町内移転を希望される方に優遇処置を取れないか、町の考えを伺います。

空港まちづくり課長

移転先に本町内を選んではいただいたことで、今の住宅取得奨励金の設定にプラスして増額を検討しています。

問 空港機能強化に伴う機能補償道路は単に代替道路ではないか。

まちづくりに向けての取り組みは。

答 地域経済の活性化に取り組んでいます。

町長が目指すまちづくりとは

問 誰もが活躍できる共生のまちづくりについて伺います。

町長 誰もが住み続けたいと思える町としていくためには、誰でも活躍できる共生のまちづくりが必要であると考え、新たな取り組みを始めました。一つ目として、移動スパーと見守り活動の実施により、高齢者の買い物物の利便性と安心・安全なまちづくりにつなげることができました。

二つ目は、障害者の方を対象とした、仕事体験事業の実施や、高齢者の方、子育て中のお母さん方と意見交換を行い、さまざまなご意見を今後の施策に生かしていきます。

問 成田空港との共生・共栄を図ったまちづくりについて伺います。

町長 成田空港の更なる機能強化や圏央道開通の効果を活用し、成田空港周辺の地域づくりに関する「実施プラン」において、空港を眺望できる公園を含む地域振興・観光拠点整備事業など43事業を施策事業として掲載し、実施してきていくところ です。



農業人材育成は重要課題

問 芝山町との共同参画事業として計画された公園について、芝山町は一時休止の結果となりましたが、本町の方向性を伺います。

空港まちづくり課長

町単独でも検討は可能だと判断しています。空港の滑走路に隣接するという特徴を生かした公園整備を目指します。将来の観光拠点となるよう、施設整備に向けて努力してまいります。

問 移住・定住の促進と地域産業の振興、人材育成、地域活性化ならびに農業所得の向上について伺います。

町長

移住コーディネーターとの連携を図り、本町の魅力を最大限PRするとともに、移住希望者に寄り添ったサポートを実施していきます。

農業人材の育成は重要な課題であり、

鵜澤 茂 議員

所要時間 61分



く、20年、30年後の本町にとって大事な道路になります。一畷田から水戸まで6.8km、その間には水戸の工業団地、国道296号と圏央道IC、検討中の構想成田空港IC、滑走路横断道があります。その東側には鷹ノ巣、五辻、間倉、喜多と平らな台地が広がっていることから、企業誘致には有望と思われれます。町の振興策としての考えを伺います。



アクセス強化に向けて

空港地域振興室長

機能補償道路は、圏央道東

側に計画されており、起点は、企業誘致を検討している複合エリア、さらには、(仮称)296号IC付近の産業拠点、終点には、多古工業団地があります。町を南北に結ぶ道路が整備されることで、その東側の土地に企業誘致が期待できるなど整備効果が大きいため、NAAに協力しながら進めてまいります。

問 染井・間倉線は成田財特の指定になっていることから、空港関連の重要路線になると思います。今後の計画を伺います。また、既存の道路をトンネル化する整備計画を要望できないか伺います。

都市整備課長

染井・間倉線は、機能補償道路、

空港横断道、「空港を見下ろす公園」に接続する、町としても重要な道路と認識しています。成田財特の期限は令和10年度末ですので、路線の問題点を整理し、概略設計業務委託を考えていきたいと思っています。

空港地域振興室長

新たな成田空港構想の中で

アクセス強化があります。圏央道と交差後の空港内の場所など、空港アクセス道路として機能が担保されるよう、NAAと協議を進めてまいります。

佐藤 幸三 議員

所要時間 40分



り、新規就農者や後継者を対象としたアグリセミナーを開催しており、また人材不足の農家と新規就農希望者のマッチングを図る目的で(仮称)農業を考える会を立ち上げる予定です。農業所得向上に関しては6次産業化が課題であるとともに、今後は市場で求められるものを生産することで価格決定に優位性を見出すマーケティングの考え方に転換していかねばならないことから、民間企業が持つ知見や情報、販売網を活用した官民連携の取り組みを行うべく、新たに整備予定の地域経済活性化拠点事業の中で、これらを実現してまいります。

産業経済課長

旧常磐小学校跡地のグランピング施設は、地元食材を利用した食事の提供や園内のマルシェ、雇用や物品調達などにより地域に経済効果がもたらされるという期待感を持っています。

道の駅周辺の地域経済活性化拠点

問 安心・安全に暮らせる災害に強いまちづくりについて伺います。

町長

防災施設などの機能強化を図るため、非常用発電機や社会基盤である道路、橋りょう、排水路施設の計画的整備、維持管理に努めています。また、災害時を想定した必要物資や防災備品、高齢者や障害者、乳幼児用に必要な備蓄品の充実を図っています。

崩落現場への対応状況は

問 南玉造の土砂崩落事故の復旧工事とその対応について伺います。

生活環境課長

年内を期限として測量、地盤調査、そして現在盛土崩落防止の対策工事の設計を行っています。調査の結果を踏まえ、国の補助事業である盛土緊急対策事業を活用して対策工事を進めていく予定です。